

宇和島市子ども・子育て支援事業計画策定のための  
ニーズ調査結果報告書  
(概要版)

令和元年 7月



# 1 調査の結果概要（就学前児童）

○調査対象：宇和島市在住の就学前児童がいる家庭 1,500 世帯

○調査期間：平成 31 年 1 月 18 日～平成 31 年 1 月 28 日

○調査方法：郵送配布・回収

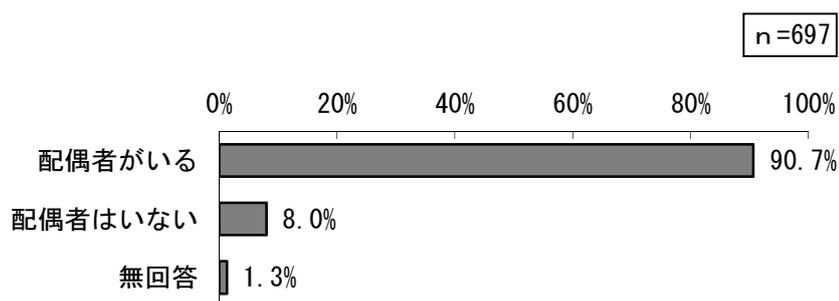
○配布・回収：

	配布数	回収数	回収率
合計	1,500票	697票	46.5%

## （1）お子さんとご家族の状況

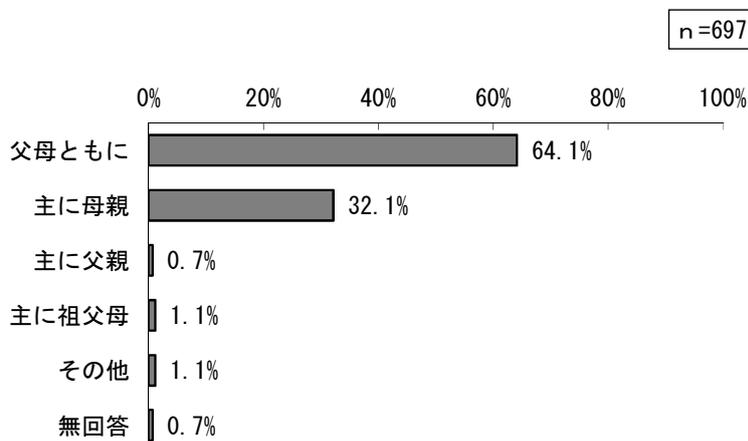
○回答者の配偶関係

回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が 90.7%、「配偶者はいない」が 8.0% となっています。



○お子さんの子育てを主に行っている方

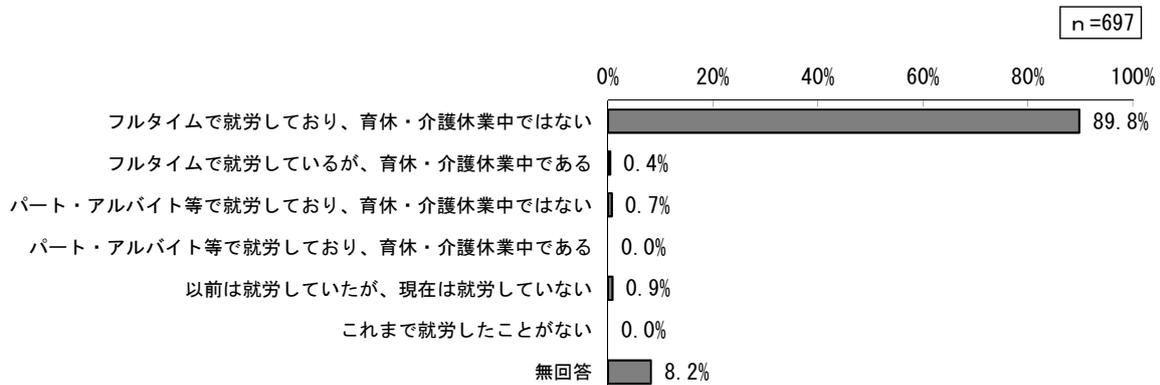
主に子育てを行っている人は、「父母ともに」が 64.1%と最も高く、次いで「主に母親」が 32.1%、「主に祖父母」が 1.1%となっています。



## (2) 保護者の就労状況

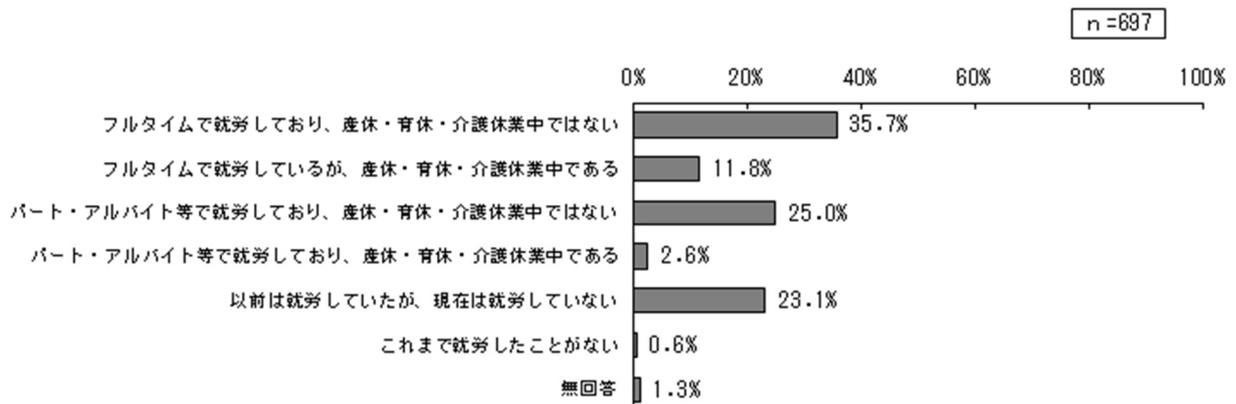
### ○父親の就労状況

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が89.8%と大半を占め、他は1%以下となっています。



### ○母親の就労状況

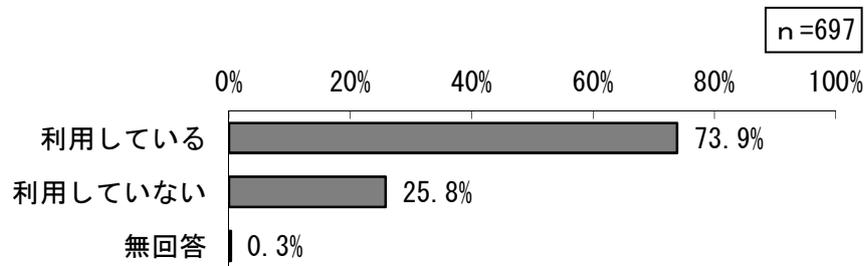
母親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が35.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が25.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.1%となっています。



### (3) 定期的な教育・保育事業の利用について

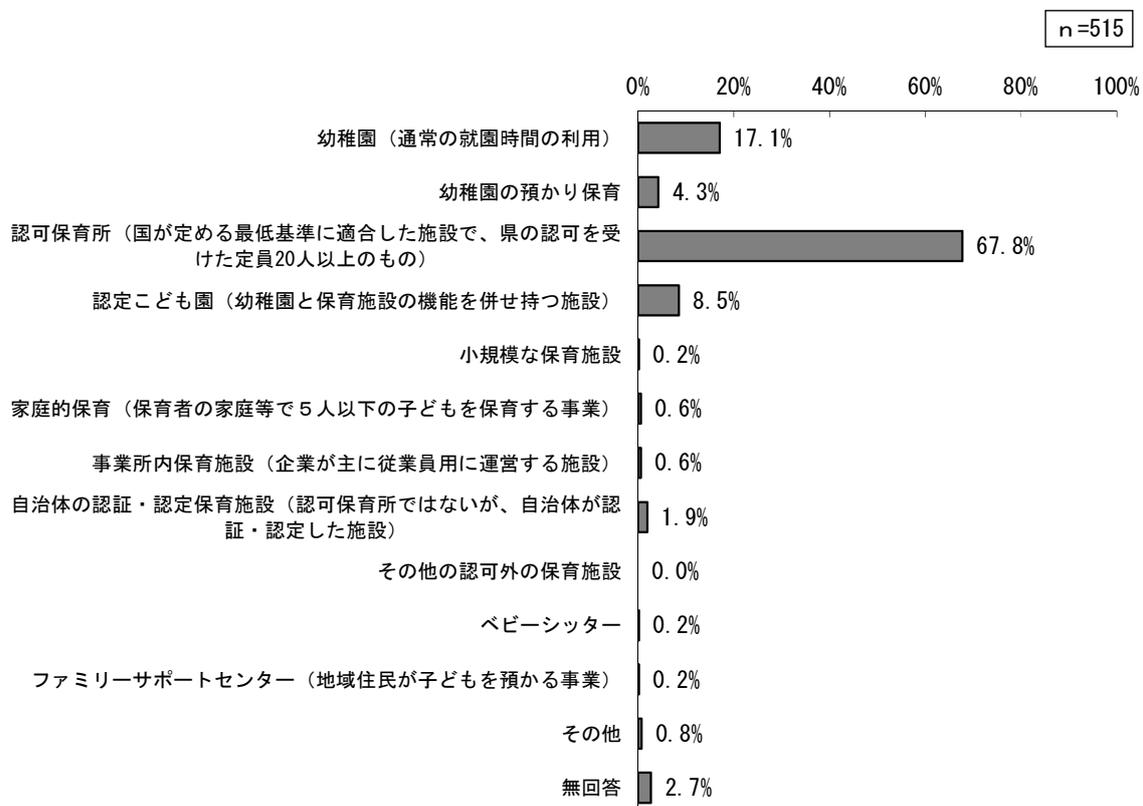
#### ○定期的な教育・保育事業の利用状況

平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無については、「利用している」が73.9%、「利用していない」が25.8%となっています。



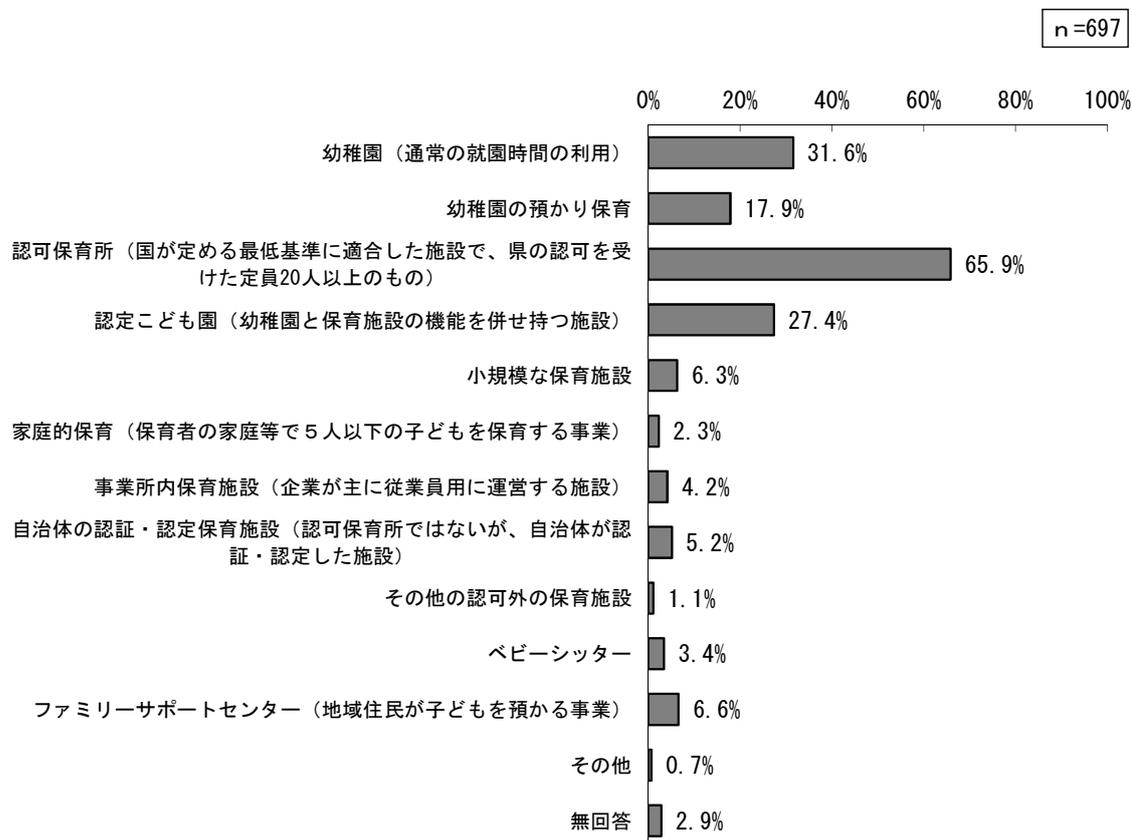
#### ○定期的に利用している教育・保育事業

平日、定期的に利用している教育・保育事業は、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で、県の認可を受けた定員20人以上のもの）」が67.8%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が17.1%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が8.5%となっています。



○定期的に利用したい教育・保育事業

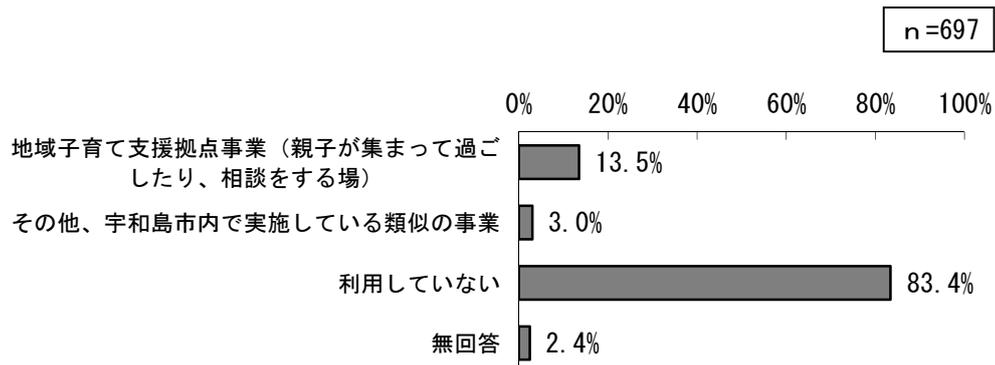
平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいのは、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で、県の認可を受けた定員20人以上のもの）」が65.9%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が31.6%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が27.4%となっています。



#### (4) 地域の子育て支援事業の利用状況について

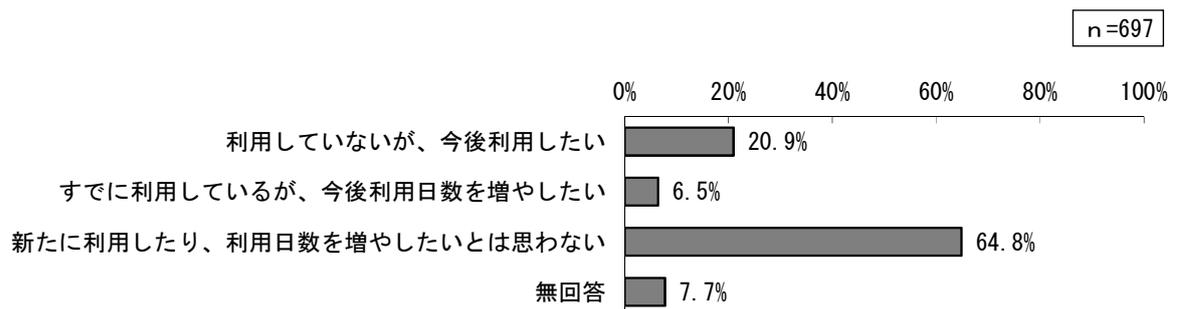
##### ○地域子育て支援事業の利用状況

地域子育て支援事業の利用状況については、「利用していない」が83.4%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が13.5%、「その他、宇和島市内で実施している類似の事業」が3.0%となっています。



##### ○地域子育て支援事業の今後の利用希望

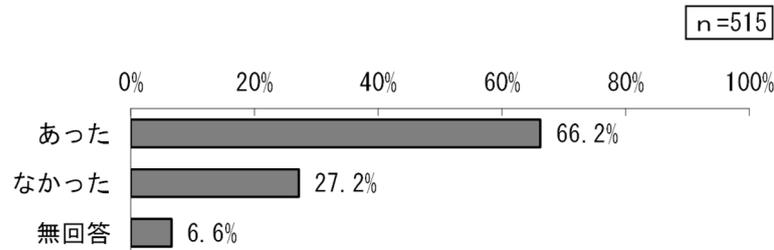
地域子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思うかは、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が64.8%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が20.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が6.5%となっています。



## (5) 子どもが病気やケガの際の対応について

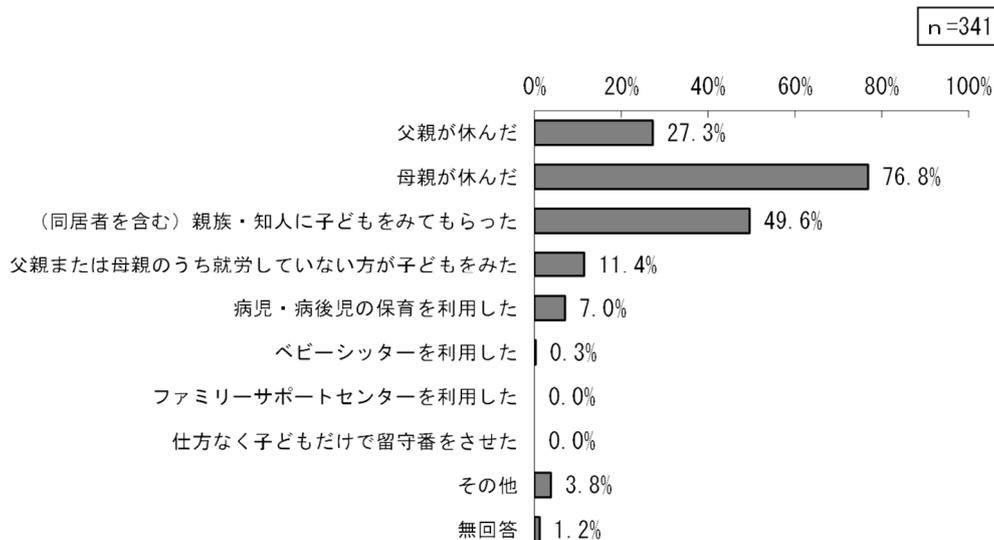
### ○病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったこと

この1年間に、子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無について、「あった」が66.2%、「なかった」が27.2%となっています。



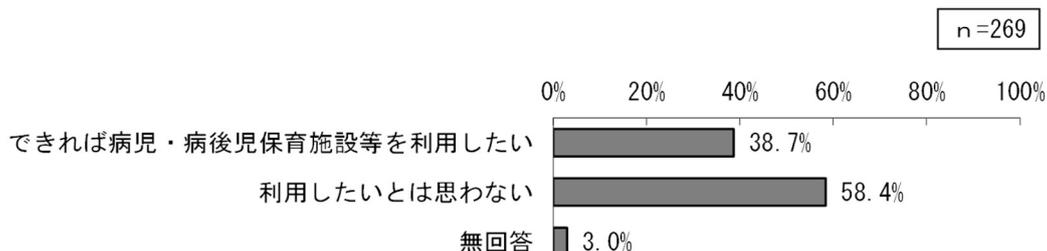
### ○病気やケガで定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法

教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が76.8%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が49.6%、「父親が休んだ」が27.3%となっています。



### ○病児・病後児保育の利用意向

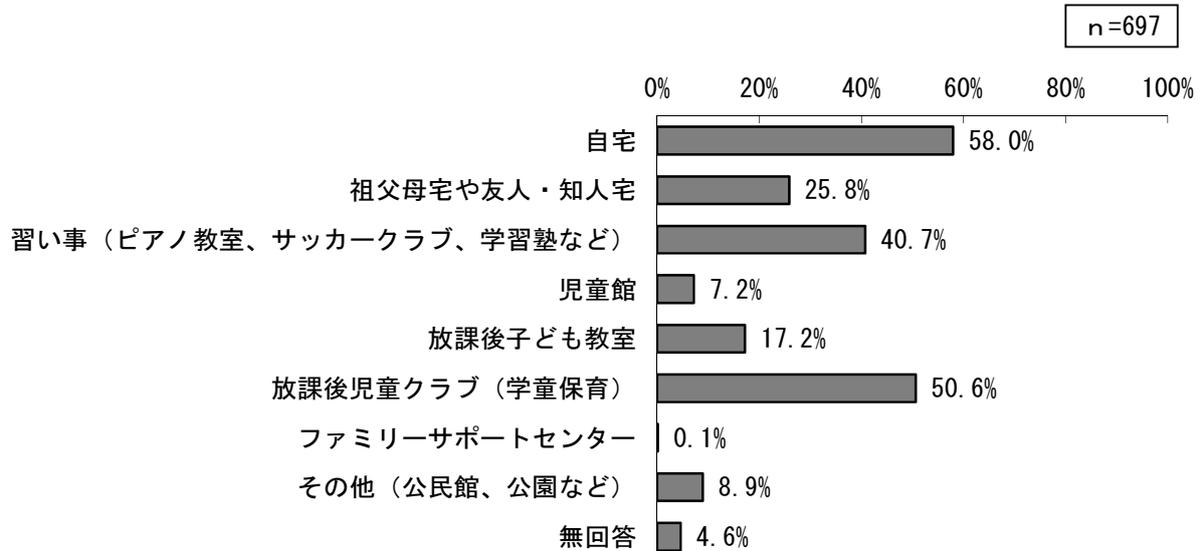
病児・病後児のための保育施設等の利用意向については、「利用したいとは思わない」が58.4%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が38.7%となっています。



## (6) 小学校就学後の放課後の過ごし方

### ○放課後を過ごさせたい場所

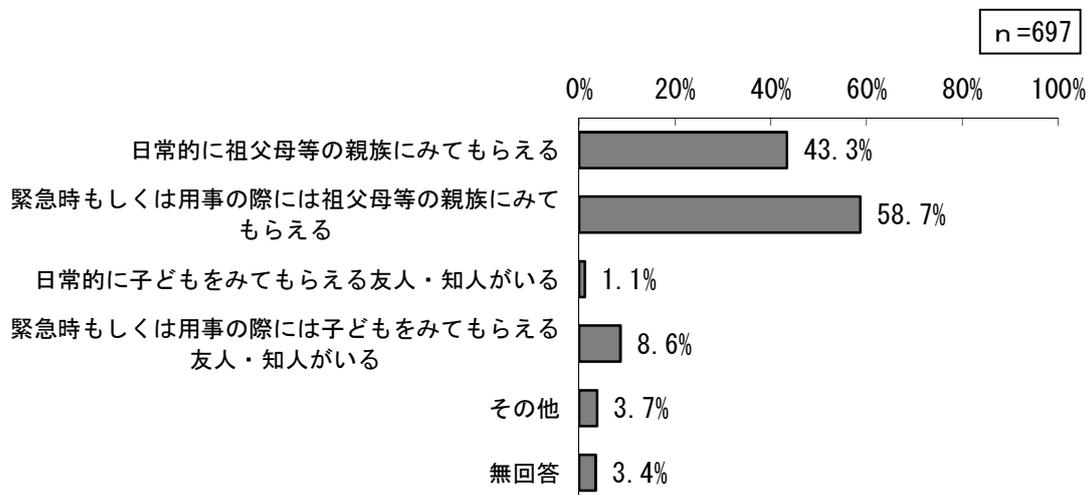
子どもが小学校に入学した後、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかは、「自宅」が 58.0%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が 50.6%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 40.7%となっています。



## (7) 家庭の子育てについて

### ○子どもをみてもらえる親族・知人の有無

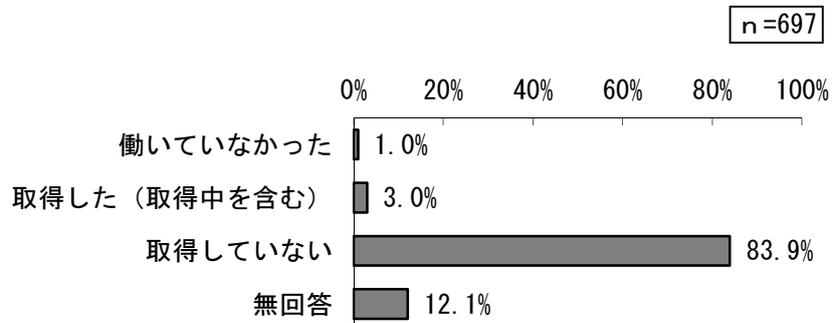
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人がいるかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 58.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 43.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 8.6%となっています。



## (8) 育児休暇の取得について

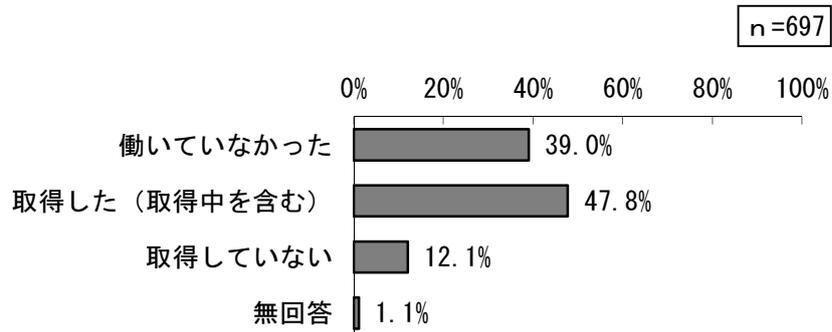
### ○父親の育児休暇の取得状況

父親は育児休業を取得したかについては、「取得していない」が83.9%と最も高く大半を占め、次いで「取得した（取得中を含む）」が3.0%となっています。



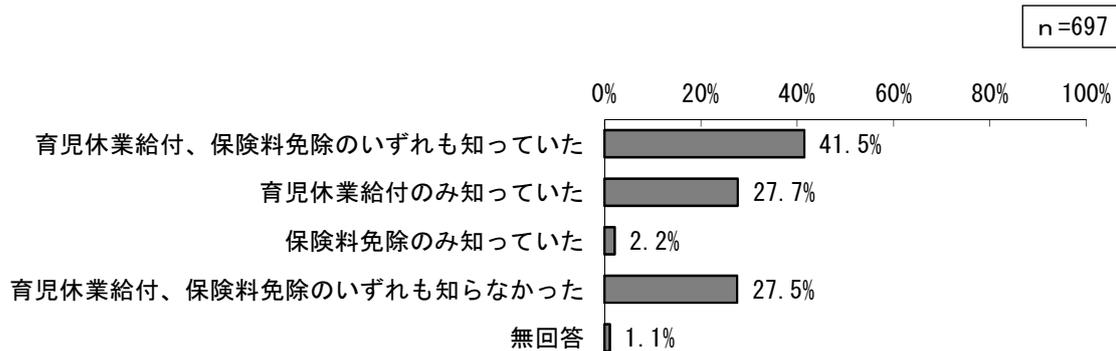
### ○母親の育児休暇の取得状況

母親は育児休業を取得したかについては、「取得した（取得中である）」が47.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」が39.0%、「取得していない」が12.1%となっています。



### ○育児休業給付、保険料免除の認知度

育児休業給付、保険料免除を知っていたかについては、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が41.5%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が27.7%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が27.5%となっています。

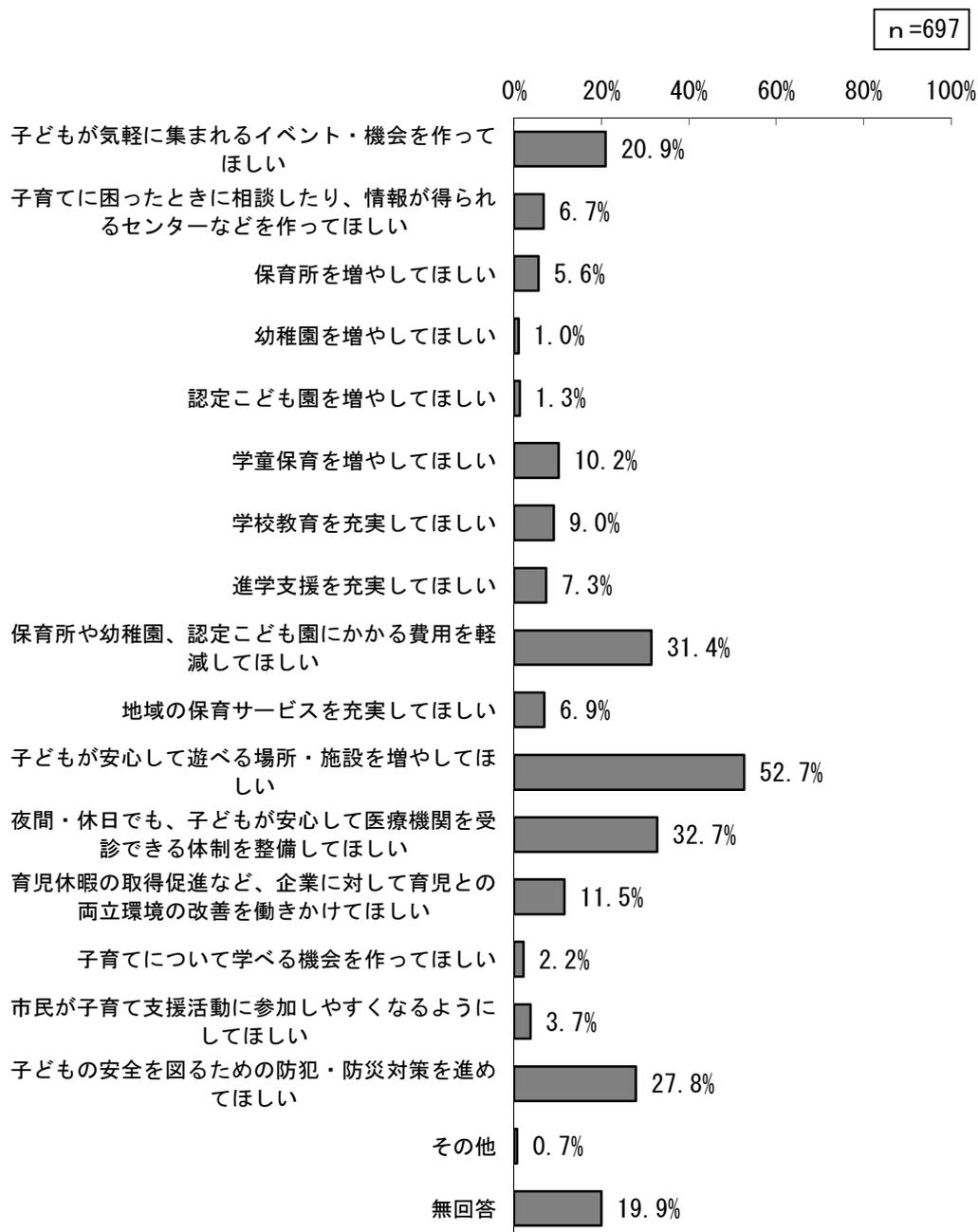


## (9) 市の取り組みについて

### ○特に期待する子育て支援

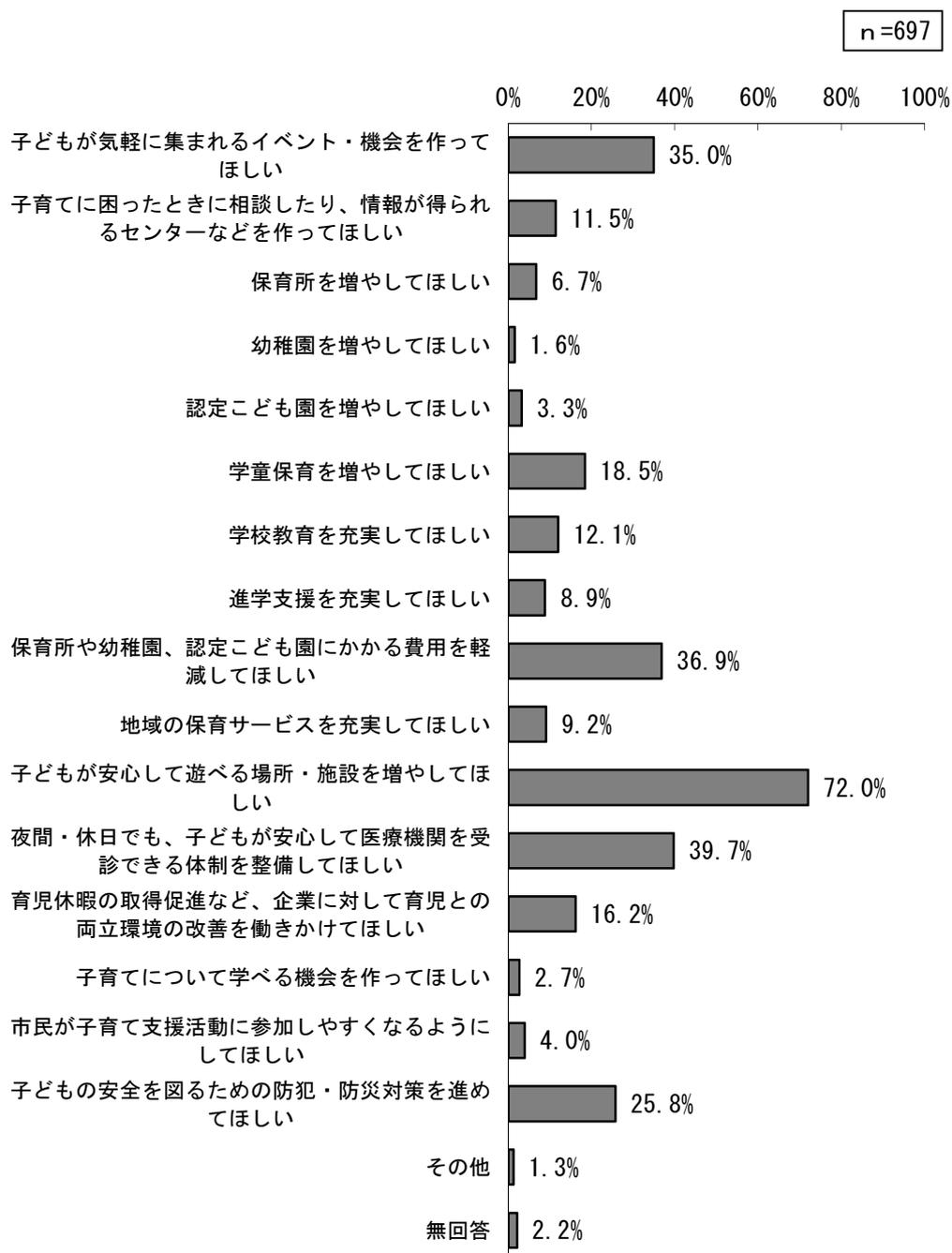
#### (1) 父親

父親の、市の子育て支援について特に期待することは、「子どもが安心して遊べる場所・施設を増やしてほしい」が52.7%と最も高く、次いで「夜間・休日でも、子どもが安心して医療機関を受診できる体制を整備してほしい」が32.7%、「保育所や幼稚園、認定こども園にかかる費用を軽減してほしい」が31.4%となっています。



(2) 母親

母親の、市の子育て支援について特に期待することは、「子どもが安心して遊べる場所・施設を増やしてほしい」が 72.0%と最も高く、次いで「夜間・休日でも、子どもが安心して医療機関を受診できる体制を整備してほしい」が 39.7%、「保育所や幼稚園、認定こども園にかかる費用を軽減してほしい」が 36.9%となっています。



## 2 調査の結果概要（小学生）

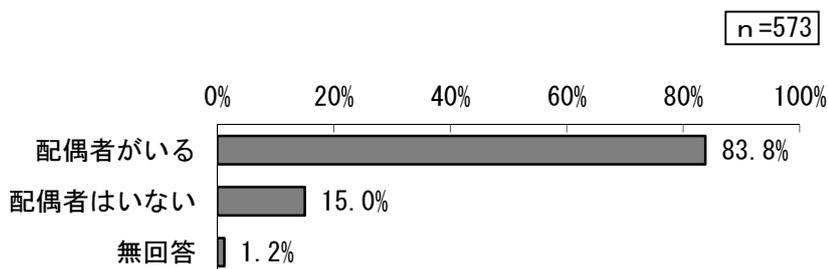
- 調査対象：宇和島市在住の小学生がいる家庭 1,500 世帯
- 調査期間：平成 31 年 1 月 18 日～平成 31 年 1 月 28 日
- 調査方法：郵送配布・回収
- 配布・回収：

	配布数	回収数	回収率
合計	1,500票	573票	38.2%

### （1）お子さんとご家族の状況

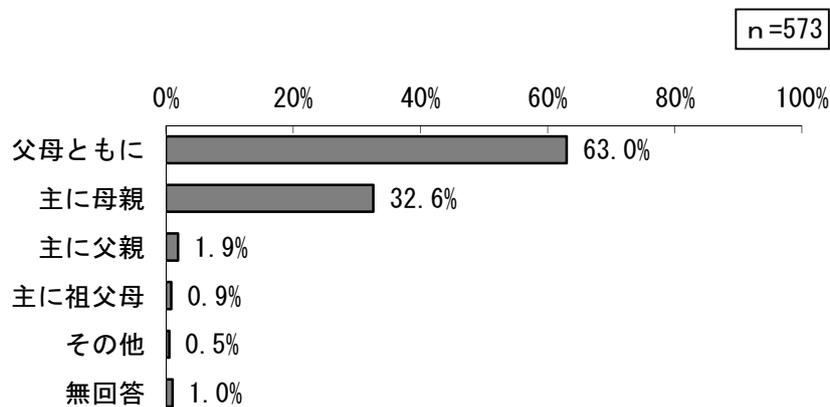
#### ○回答者の配偶関係

回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が 83.8%、「配偶者はいない」が 15.0% となっています。



#### ○お子さんの子育てを主に行っている方

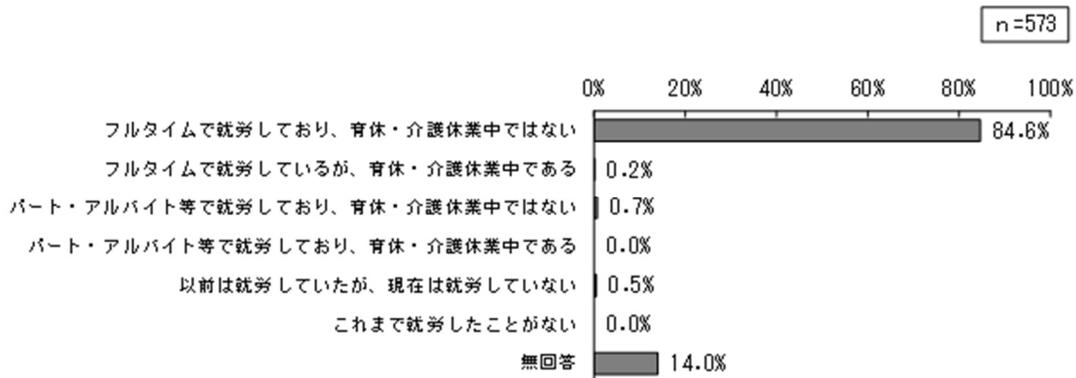
主に子育てを行っている人は、「父母ともに」が 63.0%と最も高く、次いで「主に母親」が 32.6%、「主に父親」が 1.9%となっています。



## (2) 保護者の就労状況

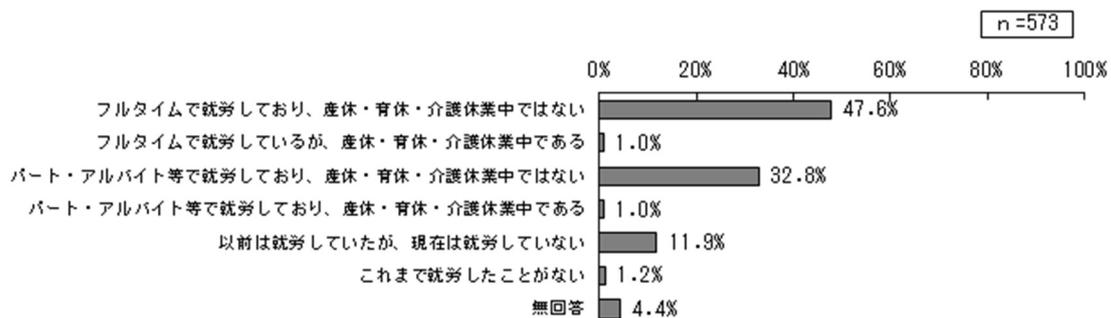
### ○父親の就労状況

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が84.6%と大半を占め、他は1%以下となっています。



### ○母親の就労状況

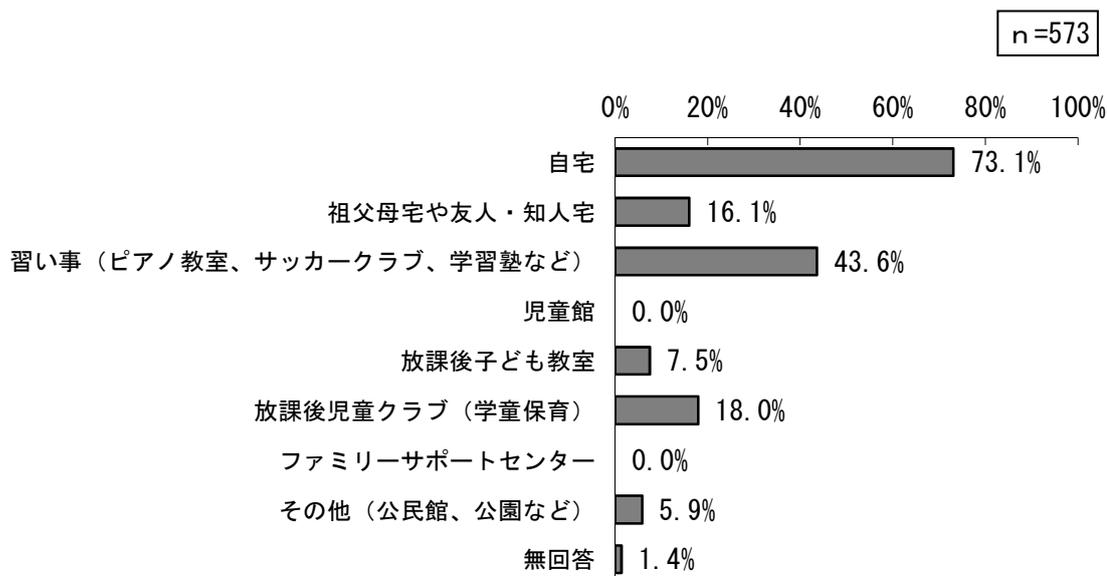
母親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が47.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が32.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が11.9%となっています。



### (3) 放課後、休日等の過ごし方について

#### ○放課後の居場所

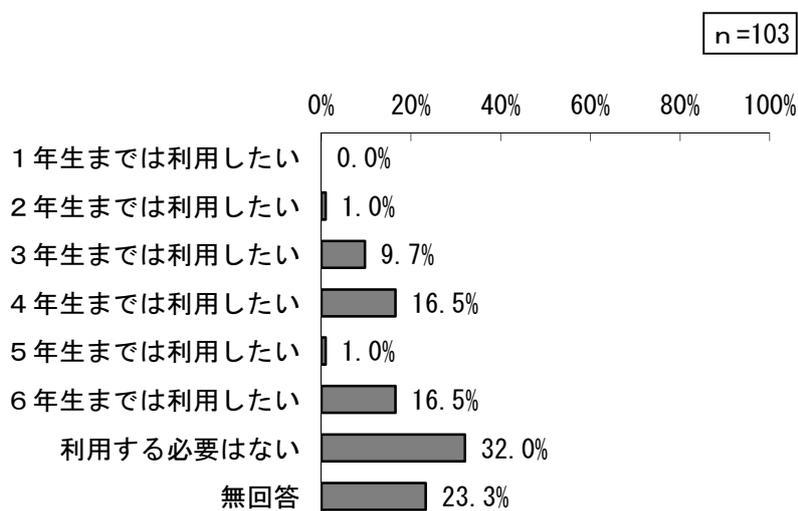
子どもが放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしているかについては、「自宅」が73.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が43.6%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が18.0%となっています。



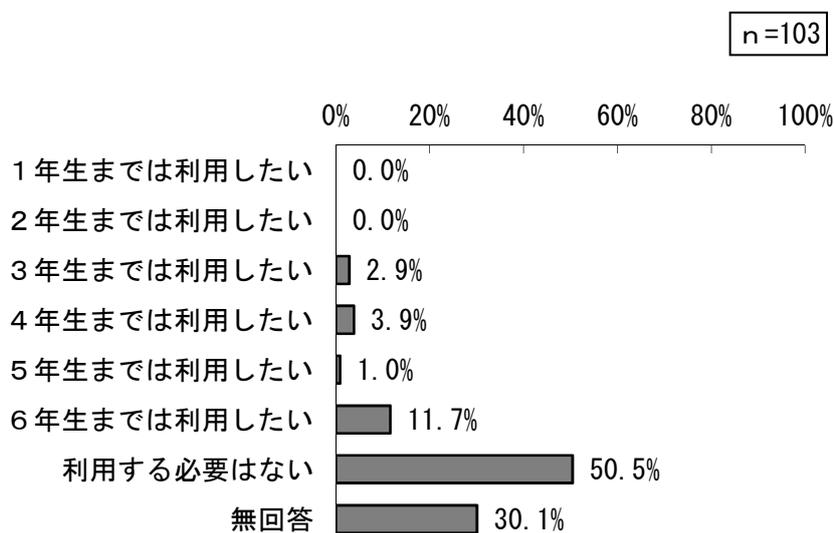
	合計	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど)	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ (学童保 育)	ファミ リーサ ポートセ ンター	その他 (公民 館、公園 など)	無回答
全体	573	73.1	16.1	43.6	0.0	7.5	18.0	0.0	5.9	1.4
小学1年生	83	57.8	21.7	33.7	0.0	14.5	27.7	0.0	3.6	1.2
小学2年生	89	60.7	15.7	37.1	0.0	14.6	28.1	0.0	7.9	0.0
小学3年生	102	70.6	12.7	51.0	0.0	7.8	25.5	0.0	5.9	1.0
小学4年生	91	80.2	12.1	42.9	0.0	2.2	15.4	0.0	4.4	1.1
小学5年生	95	76.8	21.1	52.6	0.0	5.3	6.3	0.0	7.4	1.1
小学6年生	105	88.6	13.3	42.9	0.0	2.9	5.7	0.0	6.7	2.9

○土曜日と日曜日・祝日の利用希望

土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が32.0%と最も高く、次いで「4年生までは利用したい」と「6年生までは利用したい」が同率の16.5%、「3年生までは利用したい」が9.7%となっています。

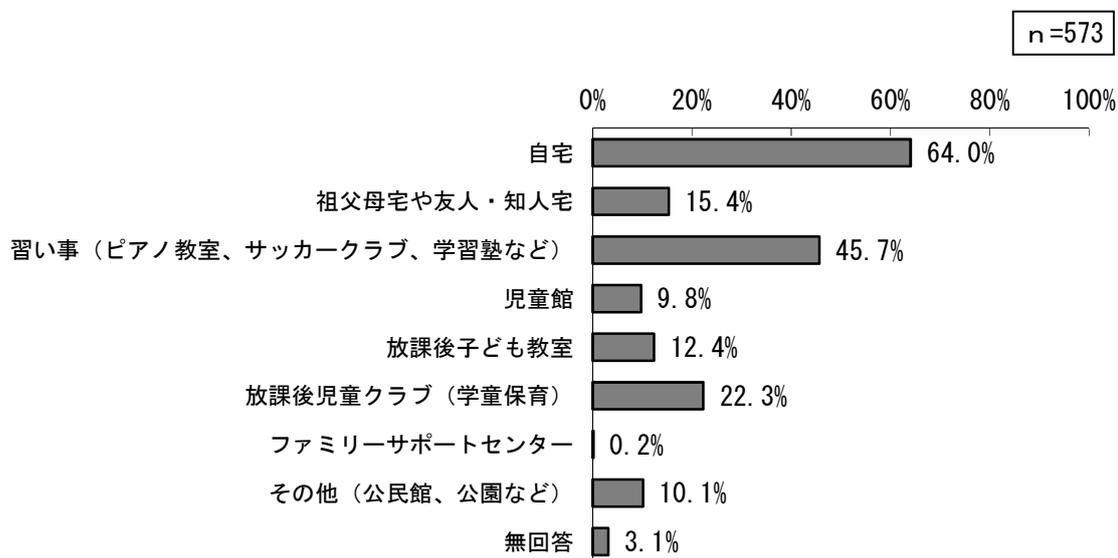


日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が50.5%と最も高く、次いで「6年生までは利用したい」が11.7%、「4年生までは利用したい」が3.9%となっています。



### ○放課後を過ごさせたい場所

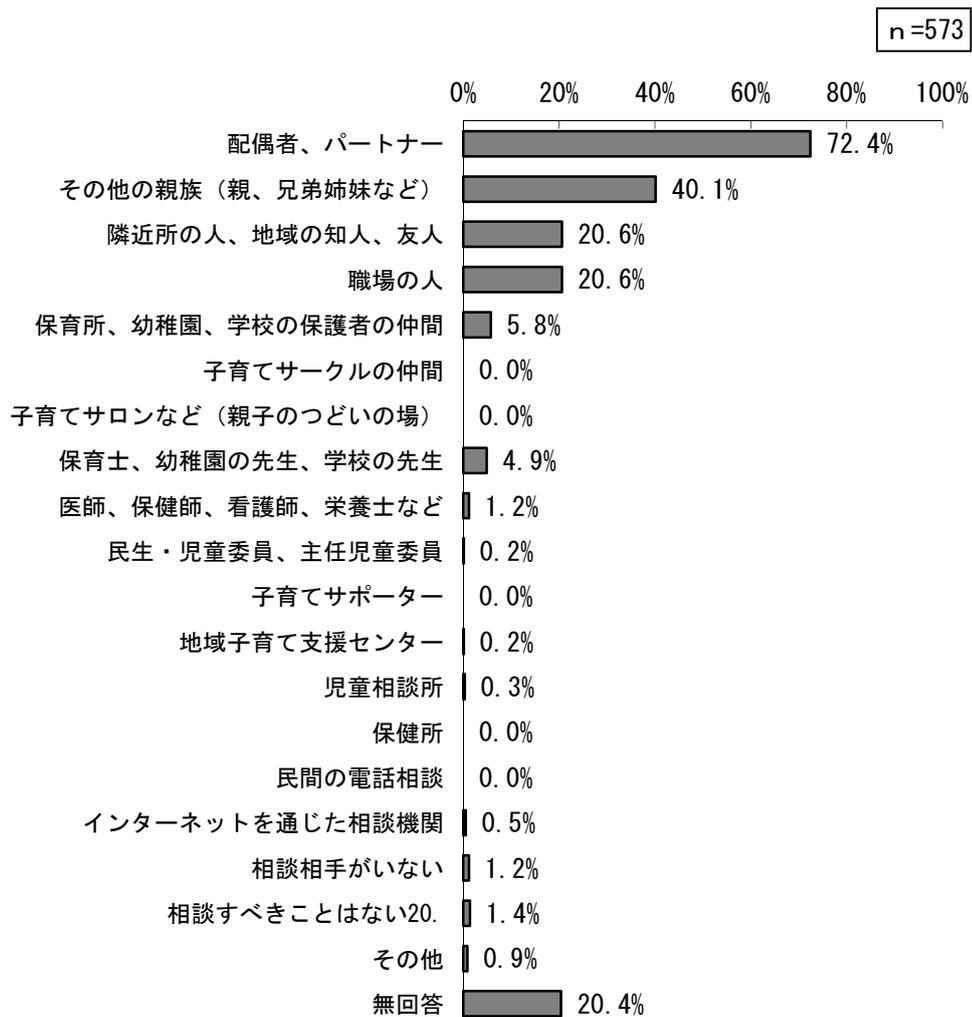
放課後（平日の小学校終了後）の時間を、子どもにどのような場所で過ごさせたいと思うかは、「自宅」が64.0%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が45.7%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が22.3%となっています。



#### (4) 家庭の子育てについて

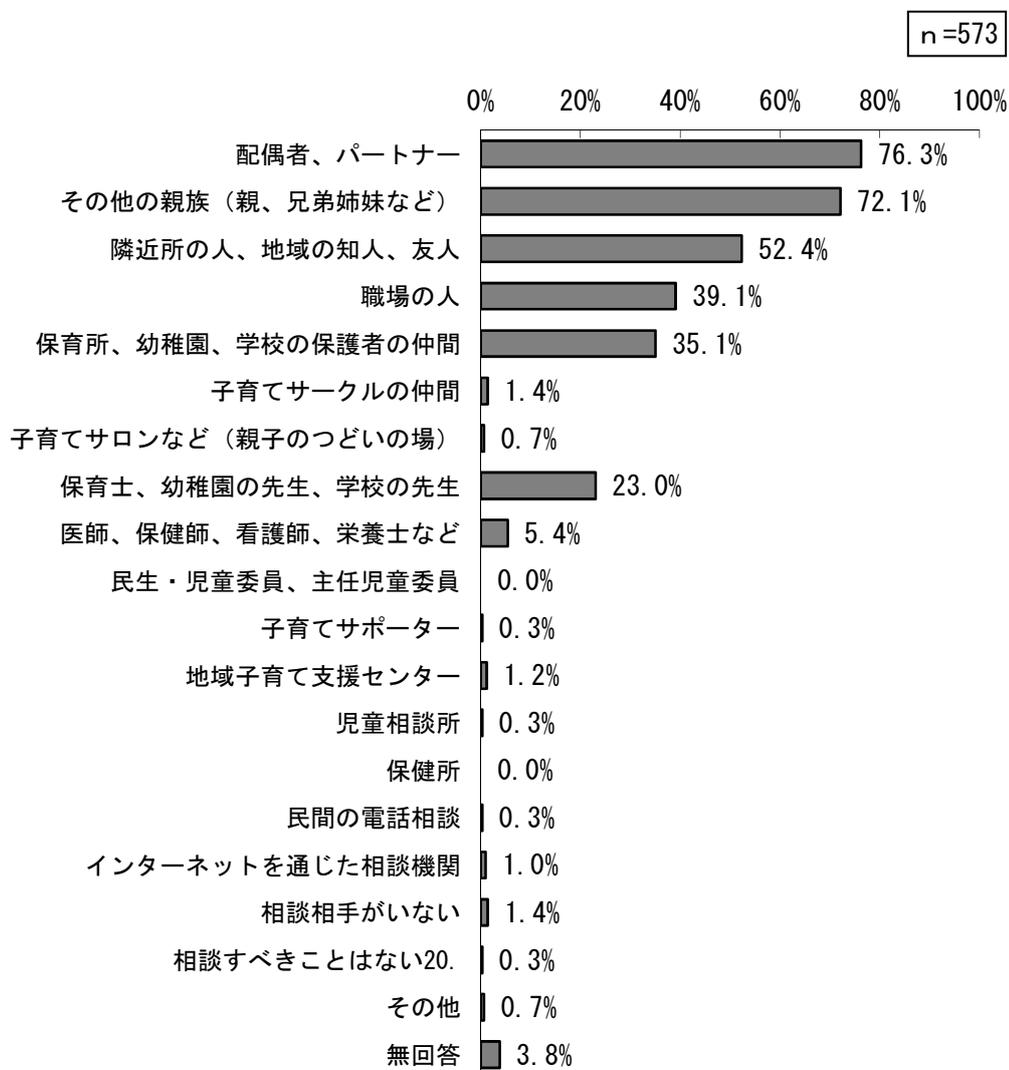
##### ○父親が子育ての悩みを相談する相手

父親が、子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる相手は、「配偶者、パートナー」が72.4%と最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」が40.1%、「隣近所の人、地域の知人、友人」と「職場の人」が同率の20.6%となっています。



○母親が子育ての悩みを相談する相手

母親が、子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる相手は、「配偶者、パートナー」が76.3%と最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」が72.1%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が52.4%となっています。

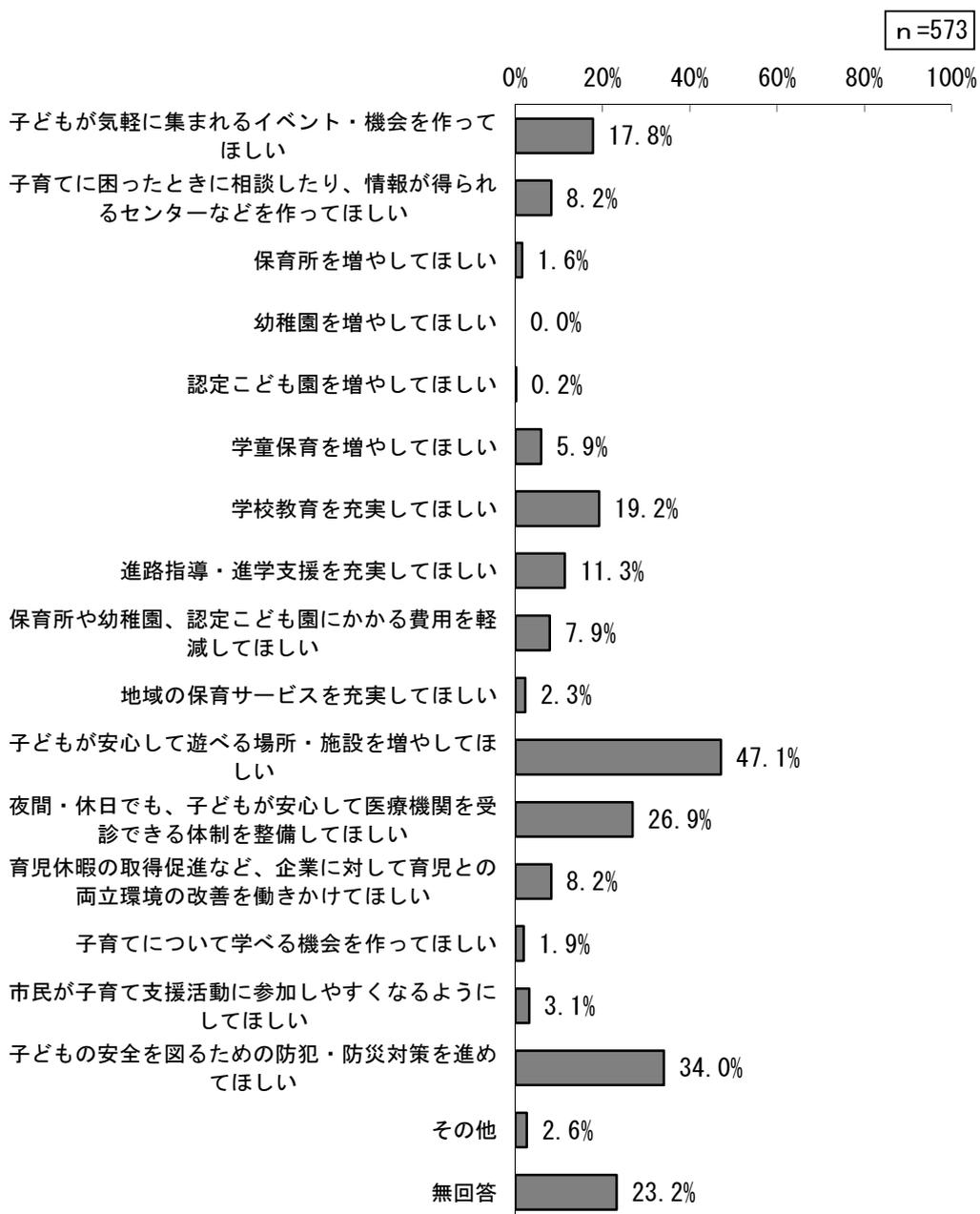


## (5) 市の取り組みについて

### ○特に期待する子育て支援

#### (1) 父親

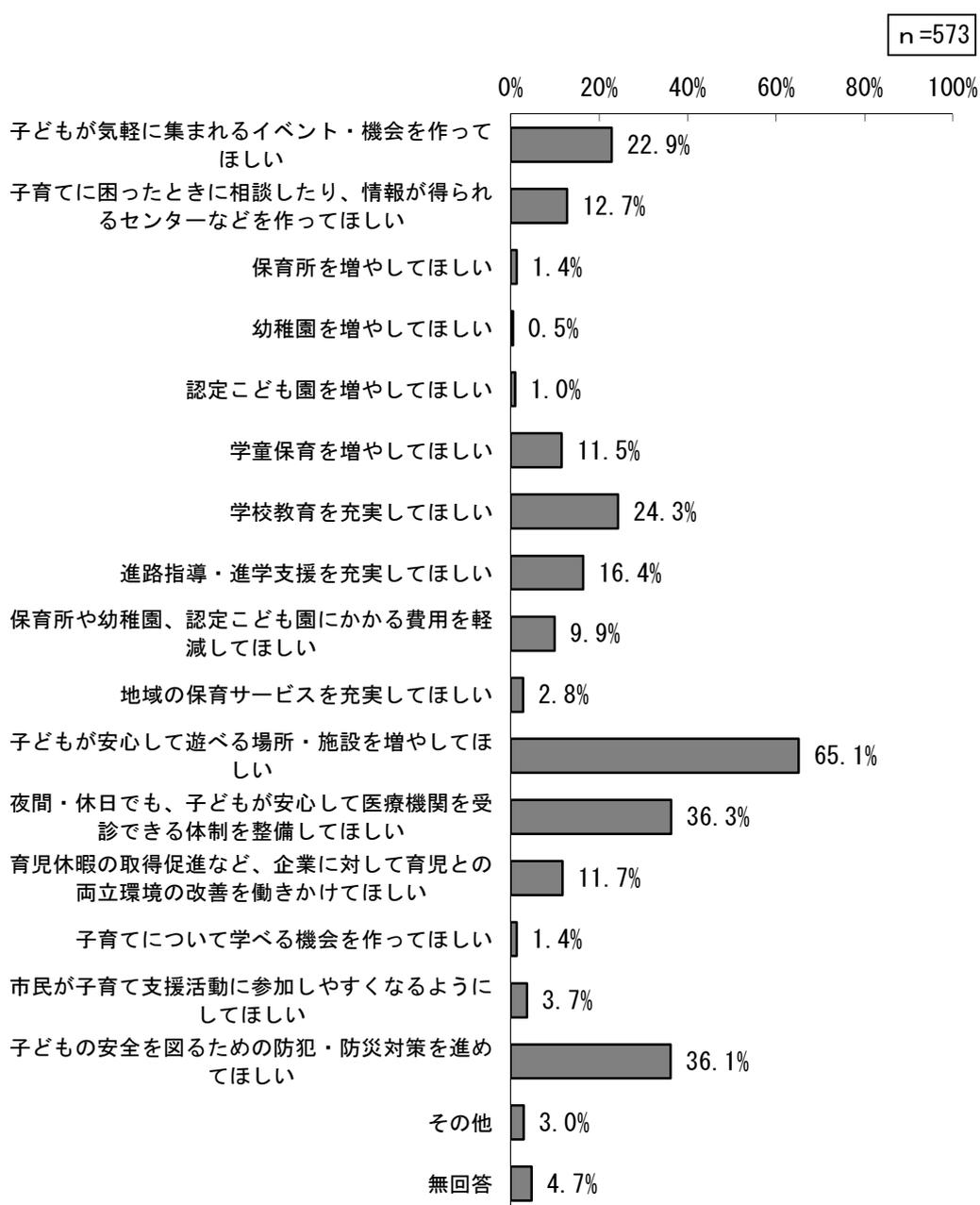
父親の、市の子育て支援について特に期待することは、「子どもが安心して遊べる場所・施設を増やしてほしい」が47.1%と最も高く、次いで「子どもの安全を図るための防犯・防災対策を進めてほしい」が34.0%、「夜間・休日でも、子どもが安心して医療機関を受診できる体制を整備してほしい」が26.9%となっています。



○特に期待する子育て支援

(2) 母親

母親の、市の子育て支援について特に期待することは、「子どもが安心して遊べる場所・施設を増やしてほしい」が65.1%と最も高く、次いで「夜間・休日でも、子どもが安心して医療機関を受診できる体制を整備してほしい」が36.3%、「子どもの安全を図るための防犯・防災対策を進めてほしい」が36.1%となっています。



〇市の子育て支援や環境づくりについてのご意見、ご提案

<p>公園の整備 62 件</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の遊具には古いものもあり、幼い子どもでも安全に遊べる環境を作ってほしいです。木々が生い茂っていると死角もできます。防犯面の対策、また夏にはスズメバチなど大丈夫か心配になります。地域でできる対策を市の方で働きかけてほしいです。</li> <li>・公園の整備を行ってほしいです。使用禁止のままになっている遊具は危ないので、修理するか撤去していただきたいです。</li> <li>・津島は公園が少ないです。自分の住んでいる地域には公園がなくて、公園に行くには近い所でも車で10分かかります。歩いていける距離に公園があればいいなと思います。</li> <li>・遊具が充実した公園があればなあと思います。麒麟公園は駐車場から遠いし、砂場が無い。三角公園のすべり台は夏頃からこわれたまま。丸山の公園は行きづらいです。</li> <li>・豪雨災害後、吉田公園が閉鎖され、近場の遊び場がなくなりました。また、魚棚公園でも使用禁止のテープが貼られたままの遊具があり使用できない状態です。子ども達が安全に安心して遊ぶことのできる施設の整備を早急におこなってほしいです</li> <li>・宇和島市内には、子どもが楽しめる公園が少ないです。もっと身近にあって休みの日遊べる場所がもっと欲しいです。また、緑が多く自然もたくさんあるので、体を動かせるアスレチックな遊具（自然とふれ合える公園）を作ってほしいです。</li> <li>・スポーツができるグラウンドを増やしてほしいです。宮下グラウンドも保手公園のグラウンドも大人のソフトの方たちが使用するので子ども達が自由にスポーツする場所がありません。</li> </ul>
<p>子どもの遊び場の提供 56 件</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就園未就園に限らず過ごせる場所が欲しいです。遊べる所が少ないと思います。</li> <li>・雨の日でも（暑い時期や寒い時期も）小さい子どもを遊ばせられる様な場所がもっとあれば良いのにとおもいます。（広くて体をおもいきり動かせる安全な所）</li> <li>・小さい子どもがいると公園に行きたいが小学生、中学生などの大きな子どももいる為、危険が多くなり、外へ出かけなくなって家で遊ぶようになってしまいます。遊び場があると出かけやすいし、子どもものびのびできると思います。</li> <li>・宇和島市には子どもの遊び場が少なすぎます。</li> <li>・子どもが遊べる施設などが不足していると思います。雨の日など何をしたらいいか悩みます。屋内の遊び場が欲しいです。</li> <li>・商店街をうまく子育て広場として活用してほしいです。</li> <li>・放課後小学校・保育園、園庭開放して公園のように自由に遊べる所がほしいです。</li> <li>・夏休みなどあまりの暑さに外で遊びなさいと言えなく結局家の中で遊ぶ事になるので子どもたちが自由に遊べる場所がほしいです。(室内)</li> </ul>
<p>経済的な支援 33 件</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての金銭的負担が減ればたくさん子どもを産みたいです。</li> <li>・子育て応援給付金は2人目以降増額してほしいです。2人目からでなく1人目からオムツ券が欲しいです。</li> <li>・医療費は小学生も無料化にしてほしいです。3000円以上になることもあり手続きも少しめんどろです。子育てしやすい町になると思います。県立高校（中学）も給食費免除や、小学校～中学まで無償化をしてもらいたいです。</li> <li>・中学・高校と子どもが大きくなる方が子どもにかかる金銭面への負担がかなり大きいのでその支援も考えてもらいたいです。</li> <li>・子育て資金にかかる支援をもう少しお願いしたいです。→少子化対策にも。→更に不妊治療に対する支援もしてほしいです。（条件の緩和を）</li> <li>・宇和島市は就学前までの医療費や小中学生の歯科の診療費など充実しており、ありがたいです。宇和島に住んでよかったと思います。50,000円のおむつ券もとっても助かりました。</li> </ul>

<p>児童館の整備 31 件</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西予市には児童館があり、雨天時でも遊ぶ場所があります。宇和島市にはそのような施設がなく、雨天時でも気軽に遊べる場所があれば保護者同志の交流の場となると思うのですが、土日に開放できる施設があればいいなと思います。</li> <li>・児童館がないため、他市まで行く事が多いです。宇和島に早く児童館ができることを待ち望んでいます。</li> </ul>
<p>放課後児童クラブ 30 件</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し子どもが過ごしやすい環境作りをしていただきたいと思います。人数制限はあるでしょうが、部屋の広さがあってないと思いました。他の子どもたちも、きついところで（部屋）雨の日は運動場も出られないし、ストレスたまってケンカも多くなるという状況がよくありました。</li> <li>・小学生の長期休み時の昼食ですが、学童の際は給食にしてほしいです。幼稚園、保育園での学童はできるのでは？夏休みのお弁当の食中毒が不安。作るのも大変！</li> <li>・すべての校区内に学童保育、放課後子ども教室の設置、夏休み、冬休み等長期休み利用可能にしてもらいたいです。</li> <li>・児童クラブを各小学校に作って欲しいです。吉田小学校へわざわざ行くのはできません。（職場の場所や時間を考慮して長期休み以外の学童利用ができません）</li> <li>・学童保育は 18 時半までのところも多く、18 時半まで就労の身としては、選択肢が少ないです。</li> <li>・学童に来年度入れず本当に困っています。今、共働きが、多い中、放課後、安心して、子どもを見てくれる所が、必要！学校に、空き教室も多くある為、その辺、上手く活用できたらと思います。</li> <li>・放課後クラブは入学の時に長時間の仕事をしてないと入れませんでした。途中では入ることができないと言われ困ります。低学年で入学してからフルタイムで働く事もあると思います。夏休み対策や、途中入会も可になるとありがたいです。</li> <li>・以前は校区外の学童に通っていましたが、子ども教室が校区にでき、毎日楽しく放課後を過ごすことができ、助かっています。土曜日や夏休みなども校区の中にあずかってくれる体制を作ってもらいたいです。</li> </ul>
<p>医療費の無償化 26 件</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校卒業まで医療費を無料にして欲しいです。</li> <li>・医療費も 6 歳未満より小 6 までのばしてほしいです。</li> <li>・子どもの医療機関利用料を無料にして欲しいです。他の地域では中学生まで無料の所がほとんど。子どもはケガや病気もしやすい。生活に負担もかかる。3000 円以上の場合は申請すれば返金もあるが、一時的な支出でも大変な事があるし、そのような制度を理解できていない人もいます。</li> <li>・8 月から歯科の費用の負担がなくなったのはすごく有難いです。</li> </ul>
<p>行政への要望 24 件</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談に参加した際の、職員の知識がなさすぎます。「忙しかった」から回答が不十分になる対応はどうかと思います。今後、参加する気になれません。もっと勉強してほしいです。</li> <li>・もっと宇和島で子育てしたいと思える市としての特色ある支援体制。（例医療費、教育費の助成、公園や体育館などの充実）</li> <li>・市の方にたずねた時、行く時行く時で答えが違っていて、人によって言う事が違いすぎます。行く時行く時とは、同じ内容です。そういう事あっては困ります。</li> <li>・生活保護の不正受給が気にかかります。職場でも明らかに・・・という人を見かけます。</li> <li>・ソフト面では、他の市町と比べて行政側の都合が優先されているように見受けられます。一方市民の行政に対する依存度も高いと感じられるので行政が主役にならない程度の子育て支援がちょうど良いと感じています。</li> <li>・発達障害をもつ親としての相談を仕事としている親としてはなかなか市役所や決められた場所に行くのは難しいです。かといって電話での対応もお互いの時間を合わせるのに苦労があり、ネットやライン(携帯)メールなどで対応できるようなシステムがあれば良いと思います。</li> </ul>
<p>病児保育 17 件</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育事業を充実してほしいです。利用できる施設の増加等。</li> <li>・トロイメライだけでは足りません。もっと預かってもらえなければ仕事もできません。</li> </ul>

<b>保育所について 15 件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の駐車場が少なく登園時の安全が確保できていません。</li> <li>・ 保育園（所）の定員がオーバーして、希望の保育園に入れませんでした。定員を増やしてもらいたい、そのための整備等をしてもらいたいです。</li> <li>・ 安心して仕事できています。保育園の先生方もとても良い先生ばかりで感謝の気持ちでいっぱいです。</li> <li>・ 現在、小さな保育園に通園していますが、先生方が一人一人をよく見てくれていて、子育ての相談等にも親身になって応じてくれていて、とてもありがたいです。</li> <li>・ 保育所について、同じ宇和島市でも、三間町、津島町など入りやすいです。地域によって変わるという事は、保育所の場所、数はバランスよくあるのか気になります。</li> </ul>
<b>預かり保育 15 件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校（低学年）でも気軽に一時預かりのできる場所があると助かります。</li> <li>・ 土、日祝日ばかり仕事が休みなわけではないので日曜祝日の保育を作ってほしいです。そうすればもっと仕事出来る人が増えます。</li> </ul>
<b>施設整備 14 件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校、中学校のエアコンの設備が整っていません。猛暑の中、3 階で授業を受けている子ども達の健康状態は悪くもおかしくない現状。早急な対応が必要です！</li> <li>・ トイレを和式から洋式に変えてほしいです。</li> </ul>
<b>子育て中でも働きやすい就労環境 14 件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主人が 2 週間、私も 1 年間育児休業を取得させていただいて職場には感謝しています。しかし職場が人員不足で周りも心の余裕がないので、特に男性の育児休業についての賛同、理解はまだ少ないと感じました。</li> <li>・ 妊娠、出産を機に退職せざるを得ない職場も多いので、その後の就労支援をしっかりと欲しています。</li> <li>・ 育休取得促進、良い環境で働ける企業誘致をお願いしたいです。</li> <li>・ 企業に向けての環境の改善をするよう働きかけてほしいと思います。私は、パートでしたが、就業時間の前も後もサービス残業の強要があったため帰宅できず困りました。</li> </ul>
<b>アンケート調査に対する不満・要望 12 件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もう少し短時間でできるアンケートにしてもらえると助かります。</li> <li>・ このアンケートですが自宅に届いて 10 日程度で回答というのは短すぎます。とりまとめる必要の期間はありますが、多くの回答を得たいならもう少し期間が必要です。</li> <li>・ このようなアンケートをとったならば、必ずフィードバックしてほしい。アンケートとりっぱなしで、どう活かしたのか、それについてどう対応したのかわからないと、全く意味がないと思います。</li> </ul>
<b>通学路の整備 12 件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学路で歩道が細く、ガードレールも付いていないので、児童が時々道路に出てきてしまっているの、とても危険に思います。（番城小学校向かいのすきや前辺りの歩道）</li> <li>・ 通学路において街灯の数が少なく、中高生は特に暗くなって帰る生徒もおり、安全面、防犯上、LED等を使用した照度の高い街灯の増設をし、通学路の整備を行うべきだと思います。</li> <li>・ 通学路でも車の交通量が多い所があるので歩行者用の道路を作ってもらうかしてほしいです。</li> <li>・ 野川四区に住んでいます。近所に非常に危険な廃屋があります。屋根はぬけ落ち、今すぐにでも崩れる恐れがあるのに放置されたままです。</li> </ul>
<b>イベント・講座の開催 12 件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両親学級に参加してみたかったが、都合がつかず参加できなかった。もう少し機会を増やしていただけるといいと思いました。</li> <li>・ 親子で参加出来るイベントを増やして欲しいです。</li> <li>・ 様々な場所でイベントがあっても、その情報が周知されていません。HP にアップするとか、各幼稚園、保育園に知らせるとか周知方法を考えてほしいです。</li> <li>・ 子どもが気軽に集まれるイベントとして、学習イベントや体験イベントをたくさん作ってほしいです。</li> </ul>

<b>医療機関 11件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間救急の時間が指定されているので（市立）小児科だけの夜間救急が欲しいです。</li> <li>・子どもが病気やケガをした時に安心して行ける医療機関がありません。（特に救急）大きな病院は市立しかないので救急の場合などは行きたくないがしぶしぶ連れて行っていますが、とても対応が悪く、処置も雑で悪化するばかりで安心して診てもらえません。</li> <li>・津島町には子どもを連れて行ける病院が限られており、宇和島まで出ないといけなく夜間や休日また予期せぬ時に起こる病気やケガ等に不安を抱えています。</li> </ul>
<b>教育について 9件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の収入の格差が子どもの成績の格差にならない様にしてほしいです。小学生の段階で授業についていけない子をなるべく減らす教育をしてほしいです。例えば1クラスの人数をなるべく少数にしたり、基礎クラス発展クラスの様に分けるとか、早い段階で授業についていけない子を減らしてほしいです。</li> <li>・都会との教育格差が広がるのではないかと不安です。</li> <li>・全国的に小学生の置き勉化が進んでいるとニュースで見ただけいつになったら宇和島は取り入れるのでしょうか。毎日、毎日同じ教科書や道具を持っていき大人でも持つとかなり重たいのに、それを登下校長い時間歩くのは大変だと思います</li> </ul>
<b>放課後子ども教室 9件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室がない地域に住んでいるので、ぜひそういうもの（場所）を作ってほしいと思います。</li> </ul>
<b>乳幼児健診 8件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の健診など職場の繁忙日と重なる事が多く、休むのに苦労するので2~3ヶ月分の日程から選択制にするなどの配慮があれば助かります。</li> <li>・子育ての集まりがすべて平日で仕事があるので行けません。0才児健診など時間が中途半端で仕事の調節が難しいです。</li> </ul>
<b>情報の提供 8件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・育休中は2つ上の子ども保育園に入れてもらえないということを育休に入って初めて知りました。保活についてももっともっと詳しく知り得る環境にしてほしかったです。</li> <li>・色々な事をしてもらっているとは思いますが、知らない事もたくさんあります。強制的にでも、知ることできるようにしてもらいたいです。利用できるものがあったとしても知らずに、時間が過ぎ、とても損したように感じます。知らない人が悪い、ではなく、知らない人がいないようにしてほしいです。</li> <li>・子育てに関わらず、宇和島市HPの更新をまめに行っていただきたいです。市の情報が入りにくいです。広報も大切ですが、HPで欲しい情報、見たい情報にたどり着けるようにしてほしいです。</li> </ul>
<b>子育て支援センター 8件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日でも室内開放している支援センターを各地区に作って欲しいです。</li> <li>・子どもが保育園に入るまでの期間、昼間、母親だけで育児をするのが大変だと思ったので、子育て支援センター等に行き、楽しい時間を過ごしたり、話をしたりする事でとても子育ての負担が減ったように思えた。とても良かったと思います。</li> <li>・旧市内に出ないと利用できる施設がなく（例、パフィオ宇和島のような施設）三間や吉田や津島にもあるととてもありがたいのですが。</li> </ul>
<b>防犯 7件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・変質者（不審者）の情報がメールで届いますが、その後の対応やどうなったかなどが分からず、子どもを持つ親としては不安です。</li> <li>・小学校の登下校中に不審者が出ることに對して防止策として、ファミリーサポートや、ボランティア、市の職員等で見回りなど行ってほしいです。</li> </ul>
<b>環境整備 7件</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路、公園等周辺の公共物、施設の安全点検等を確実に実施していただきたい。崩壊の危険性のある構造物について撤去の要望を出しているが現地調査すらなされていない。何かあった際の行政に対する訴訟等のリスク評価を軽視しすぎているのではないのでしょうか。</li> <li>・子育て世代の人口が増えるように魅力ある環境を作してほしいです。</li> </ul>

災害対策 6件
<ul style="list-style-type: none"> <li>園や学校の災害対策について。危機感があまりないのか、避難訓練が少ないし、やり方も甘い。南海トラフ大地震において、宇和島市は特別警戒区域に指定されているにもかかわらず、津波に対する訓練がなされていないし、園も学校も家庭と連携がとれていない。伊方から50Km圏内です！！どのように対策していて、どのように動くのか、市としてしっかり考えてほしいです。</li> </ul>
保育士の待遇 5件
<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士、幼稚園の先生の賃金を上げるなど（正職にする等）待遇を良くして先生を増やして欲しいです。そして保育の質を上げてほしいです。職員が少ないと質も上げたくても無理だと思います。</li> <li>保育士、幼教諭、更に処遇改善へ。→保育士増えることで待機児童も減らすことになります。現に働きたくても園に入れず断念する母も多いです。また保育士、幼教諭の働く環境が厳しく、継続できなくなる方もおられます。改善を求めます。</li> </ul>
保育料について 5件
<ul style="list-style-type: none"> <li>未満児の保育料が高すぎる。働いて、保育園に預けることでどんどん家計が苦しくなるので働かずにある程度の年齢になるまでは家で見たいですが、そうなると子持ちでの再就職が難しくなるので仕事が辞められません。一部の利用者だけ無償になるのではなく、少しでも利用料を取って、その分他の利用者の負担を軽減してほしいです。</li> <li>保育料一律を希望したいです。自営業の方は、収入を低く申告していると話を聞いた事があります。そういった話を聞くと、不信感や格差を感じます。</li> </ul>
予防接種の補助 4件
<ul style="list-style-type: none"> <li>インフルエンザ等の予防接種も子どもは無料にしてほしいです。2回接種しないといけないため必要だがお金がかかります。家族全員だとけっこうな負担になります。</li> </ul>
学校の統廃合 4件
<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化で統合していくのは仕方ないですが、大きなところへ行くことで今後ありうる震災の影響を受けやすいような学校を残してそこに行くようになるのは”反対”です。影響が少しでも少ない学校へ統合することを希望します！</li> </ul>
商業施設・娯楽施設 4件
<ul style="list-style-type: none"> <li>子連れで休日遊びに行けるショッピングセンター娯楽施設を作って欲しいです。</li> </ul>
子どもの見守り 3件
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの下校時、冬場等通りが暗く危ない所があるので安心して帰れる環境づくりを希望します。もちろん学校側も下校時間の配慮をお願いしたいと思います。朝の登園時間も車の行き来が多く危険を感じる時もあるので見守り等お願いしたいです。</li> </ul>
幼稚園について 3件
<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ公立幼稚園でも、保育の時間や延長保育の有無、放課後の園庭開放など、異なっているため、統一してほしいです。できれば保育時間の延長（9：00～15：00）、園庭開放、小学校隣接（自校給食）の幼稚園も週2～3給食など。</li> </ul>
校区について 3件
<ul style="list-style-type: none"> <li>校区の見直しをしてほしいです。</li> </ul>
障がい児支援 3件
<ul style="list-style-type: none"> <li>障害児支援は他の市町村に比べ見劣りする内容が多いです。せめて愛媛県内の状況を確認して近い水準のサービスが受けられるようにしていただきたいです。</li> </ul>
認定こども園について 2件
<ul style="list-style-type: none"> <li>認定こども園のあり方がよく分からない。教育機関であるのか保育の場なのか区別をしてほしい。また、保育士が主なのか幼稚園教諭がいるのかetc・・・。</li> </ul>
土曜塾 2件
<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜塾を利用しており、先生方もとても優しいと言ひ、喜んで通っています。おかげで、できなかった割り算もできるようになり、学校の授業も少しは分かってきているみたいです。でも土曜塾には、定員があり、希望者が全員利用できる状況ではありません。学校の授業では限界があり、希望者が全員利用できるような体制を作ってもらいたいです。</li> </ul>

道路の整備 2件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道などはよく整備されたりしていますが、県道、市道の整備ができてない所がたくさんあり中学生、小学生の子どもたちが登下校する道路がせまかったり、歩道のアスファルトがはげて段になっていたり白線が消えていたり、山の木がおおいかぶさっている様な場所がすごく多くあります。災害時にもあぶないと思いますし、登下校時もあぶないです。(津島町)</li> </ul>
食育について 2件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育について。おやつの特もそうだが、給食の質がわるい。せめて地産地消を！！できあいのものを出さないでほしい。子どもたちの食事をどう考えているのか疑問しかない。県内の外の市町村を見習ってください。</li> </ul>
その他 20件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校の給食がひどい。メニュー、量など改善してほしいです。</li> <li>・ひとり親家庭なので、何かと市にはお世話になっています。感謝しています。子どもが大きくなるにつれて悩みは尽きないですが、頑張ってやっていくしかないのかなと思います。平穩無事に毎日が過ごせたらいいと思うばかりです。</li> <li>・宇和島市総合体育館について。体育館の使用料が高いです。せめて、市内の学校が使用する練習や大会等の料金を安く設定希望します。</li> </ul>

### 3 アンケート結果からみえる課題

---

#### ●子育てと仕事の両立を支える取り組み

就学前及び小学校児童の母親で就労している人は、ともに7割を超えています（産休・育休・介護休業中を含む）。働く女性が増えている中で、保育や子育て支援ニーズも一層高まっており、自由記述では、希望の保育所に入れなかったとのご意見もみられました。また、子育て中でも働きやすい就労環境を望む声も複数寄せられています。

保育や子育て支援サービス事業の充実を図り、子育てしながら安心して働くことができる体制の強化を図るとともに、企業等にもワーク・ライフ・バランス推進を啓発するなど、総合的に子育てしやすいまちづくりを進めていくことが求められます。

#### ●病児とその家族を支える取り組み

就学前児童が病気やケガで定期的な教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」と答えた人は、7割弱となっています。また利用できなかった際に母親または父親が休んで対処した人のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が4割近くとなっています。

子どもが病気等になった際、利用したいと思えるような施設の充実を図り、安心して子どもを預けられる体制づくりを進めていく必要があります。

#### ●放課後の過ごし方に対する取り組み

小学生の放課後の過ごし方について、「自宅」が7割と最も高く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が4割となっています。また放課後の時間を過ごさせたい場所についても、「自宅」が6割と最も高くなっていますが、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」についても一定割合の回答があります。

また、学年ごとの放課後の居場所についてみると、低学年では「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ（学童保育）」で過ごす割合が高く、学年が上がるにつれて、「自宅」や「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」で過ごす割合が高くなっています。

子どもの年齢や家庭環境等に応じた、放課後の安全な居場所づくりが求められます。

#### ●家庭の子育てについて

小学校児童の保護者の子育てや教育に関する相談先は、父親・母親ともに「配偶者、パートナー」といった身近な人が7割超と多いのに対し、「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」は父親で5%、母親で20%、「医師、保健師、看護師、栄養士など」は父親で1%、母親で5%程度となっています。また「地域子育て支援センター」「児童相談所」などの施設・サービスと答えている人は少数です。

子育ての孤立化を防ぐとともに、必要な情報や助言を必要な時に得ることができるよう、相談先の情報を地域で効果的に発信していく必要があります。

## ●市の取り組みについて

### 【子どもが安心して遊べる場の確保】

就学前及び小学校児童の保護者ともに、「子どもが安心して遊べる場所・施設を増やしてほしい」という意見が最も高くなっています。また、自由記述のご意見においても、公園の整備や子どもの遊び場の提供を求める声が多数寄せられています。

子どもの健やかな成長の面においても、子育て家庭の支援の面においても、子どもが安全にのびのびと過ごせる場所は重要であり、公園や児童館等の整備の検討が求められます。

### 【子どもの安全確保のための防犯・防災対策】

就学前及び小学校児童の保護者ともに、「子どもの安全を図るための防犯・防災対策を進めてほしい」という意見が高くなっています。また、自由記述のご意見においても、通学路の整備をはじめ、防犯や災害対策を求める声が複数寄せられています。

子どもが被害者となる事故や事件、また、平成 30 年度の西日本豪雨等の大規模な自然災害が相次ぎ、子どもの安全を確保する重要度はますます高くなっています。子どもが安全に、安心して過ごすことができるよう、必要な整備を進めるとともに、地域全体で子どもを見守り、支えていく体制づくりが求められます。